

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度	平成16年度		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	04 高齢者福祉
事務事業名	01	生きがい創造事業	
根拠法令・例規等			生きがい創造事業実施要綱 備前市シルバーカード交付要綱
問 担当課(室)			介護福祉課
合 職・氏名			高齢者福祉係長 森中信行
先 電 話			0869-64-1827
このシート作成に要した時間			1.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	生きがいと創造の事業：老人クラブ会員 シルバーカード交付事業：65歳以上高齢者
目 的 (何のために)	在宅高齢者の知識と経験を生かし、その能力と意欲に応じた生産又は創造的活動によって生きがいの高揚を図ることを目的とする。 シルバーカードの発行により、家に閉じこもりがちな高齢者が外出するきっかけをつくる。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	高齢者の外出や社会参加促進を図り、社会的孤立感を解消し、生きがいを持って生活できるようにする。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	生きがい創造の事業	65歳以上の高齢者に対して陶芸教室・木彫教室・園芸教室の開講	
	シルバーカードの交付事業	65歳以上の市民に対してシルバーカードの発行。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		444	444	444	
	必要人員(人件費)	千円	0.07人	539	479	512
	事業費計		983	923	956	
	国県支出金		293	293	293	
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源		690	630	663		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	教室受講者数	説明	3教室定員30人の合計参加者数			
	結果指標量	事業	68	65	71	
	対前年比	%	-	95.6%	103.2%	
	活動コスト	円	983,000	747,000	956,000	
単位当たりコスト		14,456	11,492	13,465		

(平成22年度事業)

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	200	300	300	300
		実績値(B)	190	479	213	到達目標値
シルバーカード発行数		95.00%	159.67%	71.00%	300	
成果指標設定の考え方・式や説明						

外出の機会が多くなり、高齢者の閉じこもりが解消される。

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度		

事業の目的やその数値目標がある成果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	生きがい創造事業は老人クラブの自主運営を促しながら、孤立しないよう支援を続ける。一部の会員のみでの利用となっているので、老人クラブの会議等で積極的に広報をし、新規受講者の掘り起こしを行う。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
高齢者が創造的活動を通じて生きがいを持って生活することは、介護予防の観点からも重要である。しかし、受益者のかたよりがみられる。	評価区分 <A~E>	C
	妥当性	有効性

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	受益者の偏りがみられるので、新規受講者の掘り起こしを行う。					